

名古屋市総合計画 2023

【 総 論 】

目 次

ページ

1 総論 (概要)	
(1) 計画策定の考え方	1
(2) 名古屋を取り巻く状況	4
(3) 長期的展望に立ったまちづくり	4
(4) 第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業	10
(5) めざす都市像の実現に向けた施策・事業	12

1 総論（概要）

（1）計画策定の考え方（議案別冊：1～4ページ）

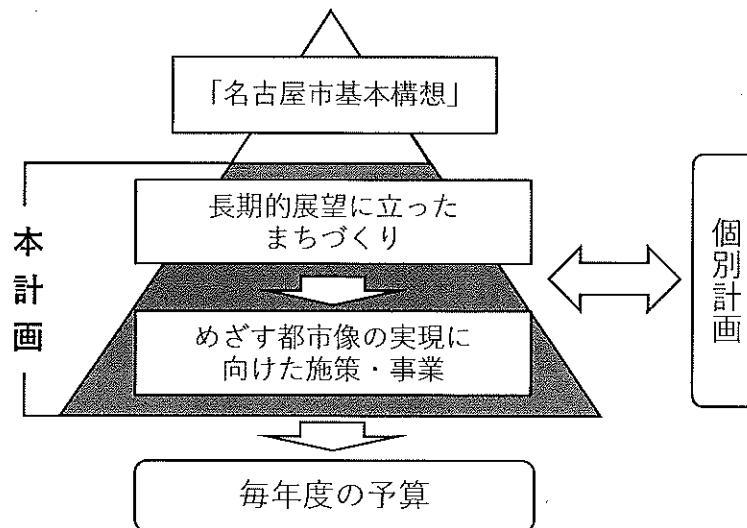
ア 計画策定のねらい

本計画は、第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業を重要な柱と位置づけ、長期的展望に立った上で、本市のめざす都市像を描くとともに、その都市像の実現に向けて取り組む施策等を明示することにより、市政を総合的かつ計画的に運営していくことを目的に策定する。

イ 計画の全体像

（ア）計画の位置づけ

- ・「名古屋市基本構想」のもとに、本市がめざす都市像などを「長期的展望に立ったまちづくり」として示し、その実現のために必要な施策・事業を総合的・体系的に取りまとめる。
- ・本市の各分野の個別計画は、本計画との整合をはかる。
- ・本計画を踏まえ、毎年度の予算を編成する。



(イ) 計画期間

- ・令和元年度から令和5年度までの5年間とする。
- ・「長期的展望に立ったまちづくり」には、第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線（品川－名古屋間）の開業後となる令和12年頃を見据えて都市像・戦略を描く。
- ・「めざす都市像の実現に向けた施策・事業」には、5年間の計画期間内に取り組む施策と関連する事業を掲載する。

(年度)

平成 30 2018	令和 元 2019	2 2020	3 2021	4 2022	5 2023	6 2024	7 2025	8 2026	9 2027	10 2028	11 2029	12 2030
<p>長期的展望に立ったまちづくり 令和12（2030）年頃を見据えた本市のめざす都市像・戦略</p> <p>めざす都市像の実現に向けた 施策・事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催 ●大阪・関西万博の開催 ●団塊の世代が後期高齢者に（～2025） ●第20回アジア競技大会の開催 ●リニア中央新幹線の開業（品川－名古屋間） 												

(ウ) 計画の構成

第1章 計画策定の考え方

第2章 名古屋を取り巻く状況

第3章 長期的展望に立ったまちづくり

1 まちづくりの方針

新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！ 世界に冠たる「NAGOYA」へ

2 めざす都市像

都市像1

人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち

都市像2

安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち

都市像3

人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち

都市像4

快適な都市環境と自然が調和したまち

都市像5

魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち

3 将来の都市構造

4 重点戦略

- 戦略1 子どもや親を総合的に支援し、未来を担う人材を育てます
- 戦略2 みんなにやさしい福祉を実現し、元気に活躍できるまちづくりを進めます
- 戦略3 災害から命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保します
- 戦略4 強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、環境と調和した都市機能を強化します

5 市政運営の取り組み

第4章 第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業

第5章 めざす都市像の実現に向けた施策・事業

45 施策

530 事業

(2) 名古屋を取り巻く状況 (議案別冊：5～30ページ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ・少子化・高齢化に伴う人口構造の変化 | ・交流人口の増加 |
| ・価値観・ライフスタイルの多様化 | ・産業を取り巻く環境の変化 |
| ・自然災害に対する懸念 | ・公共施設の老朽化 |
| ・環境の持続可能性に対する懸念 | ・持続可能な開発目標 (SDGs) の採択 |
| ・リニア中央新幹線の開業に伴う変化 | |

(3) 長期的展望に立ったまちづくり (議案別冊：31～98ページ)

ア まちづくりの方針

新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！
世界に冠たる「NAGOYA」へ

- ・名古屋の強みを最大限に引き出す
- ・名古屋大都市圏におけるハブ機能を果たし成長をけん引する
- ・日本で1番子どもを応援！高齢者も安心できるみんなにやさしい福祉の実現
- ・大規模災害から命と産業を守り、日々の暮らしの安心・安全を確保する
- ・ヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み、新たな価値を創造し持続的な経済成長をめざす
- ・名古屋城天守閣の木造復元により、特別史跡名古屋城跡を世界に誇れる日本一の近世城郭へ
- ・魅力と郷土愛にあふれる世界のデスティネーションへ
- ・アジア諸国との交流を活発に行い、アジア・世界の交流拠点都市へ
- ・リニア時代のリーダー都市へ
- ・SDGs 未来都市として、持続可能な未来を切りひらく

イ めざす都市像

都市像 1 人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち
<ul style="list-style-type: none">・人権が尊重され、誰もが生きがいを持って生活できるまち・高齢者や障害者をはじめ誰もが不安なく、自立して生活できるまち・多様な人々が自分らしく活躍できるまち
都市像 2 安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち
<ul style="list-style-type: none">・安心して子どもを産み育てることができるまち・子どもが健やかに成長できる、笑顔あふれるまち・若者が明るい未来を切りひらき、いきいきと活躍できるまち
都市像 3 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち
<ul style="list-style-type: none">・地震や豪雨などの災害に強いまち・火災や犯罪、交通事故が起こりにくいまち・安心・安全な市民生活が守られているまち
都市像 4 快適な都市環境と自然が調和したまち
<ul style="list-style-type: none">・快適な都市環境の中で暮らせるまち・自然が身近に感じられる潤いのあるまち・環境にやさしい低炭素で循環型のまち
都市像 5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち
<ul style="list-style-type: none">・高いブランド力を有し、市民が誇りに思えるまち・世界から人や企業をひきつける、開かれたまち・地域の産業が活性化し、高い産業競争力を有するまち

ウ 将来の都市構造

大都市における集約連携型の都市構造の実現をめざす
<ul style="list-style-type: none">・駅を中心とした歩いて暮らせる圏域に、商業、業務、住宅、サービスなどの多様な都市機能が適切に配置・連携された空間づくり・歴史・文化、環境や防災に配慮された、魅力的で安全な空間づくり・都心を中心に、圏域の中核都市として交流を活性化させ創造的活動を生み出す空間づくり

エ 重点戦略

- ・第20回アジア競技大会の開催や今後迎えるリニア時代と人口減少社会を念頭に、新たな名古屋を創造していく必要がある。
- ・平成27（2015）年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、本市は「SDGs未来都市」として、その理念を踏まえ、誰一人取り残さない、経済・社会・環境が調和した持続可能で強靱なまちづくりを積極的に進めていかなければならない。
- ・名古屋の強みのもと、第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業を千載一遇の飛躍のチャンスと捉え、社会を支える「ひとづくり」や強靱で質の高い「都市づくり」を中心に、未来につながる好循環を生み出す投資を積極的かつ戦略的に行うことにより“住みやすさ”“強い経済力”“にぎわい”“持続可能性”を兼ね備えた世界から選ばれ尊敬される、世界に冠たる「NAGOYA」をめざす。

戦略1 子どもや親を総合的に支援し、未来を担う人材を育てます

未来を担う人材が育つ！「子ども・若者応援戦略」

- ① 子ども・親総合支援の推進
- ② 子どもの健やかな育ちの支援
- ③ 幅広い学力の育成、体力向上の推進
- ④ グローバル人材・ものづくり人材・ICT人材の育成に向けた教育の充実
- ⑤ 学びを支える教育環境の充実
- ⑥ 若者が学び活躍できる環境づくり

安心して子育てができる！「子育て応援戦略」

- ① 妊娠前から子育てにわたる切れ目のない支援
- ② 働きながら子育てしやすい環境づくり
- ③ 社会全体で子育てを支援する環境づくり

戦略2 みんなにやさしい福祉を実現し、元気に活躍できるまちづくりを進めます

長寿社会を安心に！「健康・安心戦略」

- ① 健康づくり・予防医療の推進、先進的な研究の推進
- ② 救急医療体制の充実
- ③ 認知症施策の充実など地域包括ケアシステムの深化・推進

誰もが活躍！「ダイバーシティ推進戦略」

- ① 人権が尊重され、多様性を認め合う社会の実現
- ② 多様な人材の活躍推進
- ③ 障害者の地域生活支援
- ④ バリアフリーのまちづくり

みんなでつくる！「地域コミュニティ活性化戦略」

- ① 活躍できる場の形成と参加に向けた地域活動の促進
- ② 地域の多様な担い手の育成・支援

戦略3 災害から命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保します

備えを万全に！「地域防災戦略」

- ① 防災啓発活動の推進
- ② 地域特性に応じた防災対策の推進

災害に強く！「災害対応力向上戦略」

- ① 消防・救助体制の充実、防災拠点等の機能強化
- ② 情報収集伝達手段の多様化・充実
- ③ 指定避難所の機能強化
- ④ 耐震対策・浸水対策など都市防災機能の強化
- ⑤ 帰宅困難者対策の推進

安心して暮らせる！「暮らしの安心・安全戦略」

- ① 救急救命体制の充実
- ② 安心・安全な地域づくり

戦略4 強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、環境と調和した都市機能を強化します

来たれアジア！リニア！「都市機能強化戦略」

- ① リニア中央新幹線開業に向けた都心の魅力づくり
- ② 第20回アジア競技大会を契機とした基盤整備
- ③ 最先端モビリティ都市の実現に向けた取り組みの推進
- ④ 公共交通の快適性・利便性の向上
- ⑤ 広域交通ネットワークの強化

持続可能な未来へ！「環境都市推進戦略」

- ① 低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
- ② 緑に親しめる環境づくり、水循環機能の回復、生物多様性の保全
- ③ 社会経済情勢の変化に対応した3Rの推進
- ④ 環境と経済・社会をつなぐ統合的取り組みの推進

交流を促進し新たな価値を創出！「イノベーション戦略」

- ① イノベーション創出・創業等支援
- ② 価値づくり産業・成長産業の振興、戦略的企業誘致
- ③ 産業交流の促進、MICEの推進
- ④ 地域商業の活性化
- ⑤ 産業人材の育成・確保

魅力資源の磨き上げ！「魅力向上・発信戦略」

- ① 名古屋城を核とした魅力軸の創出・発信
- ② 文化・歴史資源、観光資源など名古屋が有する魅力の向上・発信
- ③ 国際交流の推進、受入環境の整備、海外からの誘客促進
- ④ スポーツ、ポップカルチャーを活かした魅力の創出・発信
- ⑤ シビックプライドの醸成

オ 市政運営の取り組み

(ア) 市民本位・地域主体の市政運営
<ul style="list-style-type: none">・人権を尊重し、人を大切にする視点に立った行政サービス・公正かつ透明性の高い市政の確保・地域主体のまちづくり・行政サービスの充実に向けた企業、NPO、大学など多様な主体との連携
(イ) 持続可能な行財政運営
<ul style="list-style-type: none">・行政改革の取り組み・統計データの活用・財政運営の取り組み・アセットマネジメントの推進
(ウ) 市民とともに名古屋の将来を築くことのできる職員の確保・育成
<ul style="list-style-type: none">・人材の確保と育成・コンプライアンスの確保・働きやすい環境づくり
(エ) 名古屋市がめざす大都市制度
<ul style="list-style-type: none">・圏域における自治体連携の推進・「特別自治市」制度の創設

(4) 第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業

(議案別冊：99～122ページ)

ア 第20回アジア競技大会を契機としたまちづくりビジョン

(ア) 第20回アジア競技大会の開催について

<ul style="list-style-type: none">・アジア競技大会は、原則4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典であり、「アジア版オリンピック」ともいわれる国際競技大会である。・開催期間中に選手や監督、コーチなど大会関係者約1.5万人、観客約150万人がこの地域に訪来することが見込まれており、経済波及効果は1,625億円と試算している。・アジア各国に本市をPRする千載一遇のチャンスとなることから、一過性のスポーツイベントに終わらせるのではなく、大会の開催効果をスポーツの振興をはじめ、交流人口の拡大、国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化など、さまざまな分野につなげていくことが必要である。

(イ) 基本目標

基本目標1	スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域の活動が盛んになることで、活力ある都市の実現
基本目標2	スポーツにより、都市のブランドが確立するとともに、名古屋の魅力が国内外に発信されることで、にぎわいあふれ市民が誇りをもてる都市の実現
基本目標3	大会で、アジアをはじめとした諸外国や多様な人々との交流や理解が深まることで、豊かな国際感覚を備え、多様性に理解を示す市民が増えるとともに、国際社会で活躍する人材が育ち・集う、開かれた都市の実現
基本目標4	大会で、活用した都市基盤、先端技術、危機管理体制などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、絶え間なくイノベーションし続ける、持続可能な都市の実現

イ リニア時代のまちづくりビジョン

(ア) リニア中央新幹線の開業について

- ・リニア中央新幹線開業によって名古屋と東京が約40分につながり、首都圏との人の交流が盛んになると見込まれる。
- ・リニア中央新幹線が大阪まで延伸されると、東京・名古屋・大阪がひとつの巨大な都市圏となるスーパー・メガリージョンが誕生し、本市が7,000万人規模の世界最大の交流圏の中心都市となる。
- ・名古屋が有する世界レベルのものづくり技術や広域的な交流ネットワークによる経済活動の多様性が発揮されることで、産業や観光など、さまざまな分野において、魅力的で世界から人をひきつける国際都市へと成長する可能性を秘めている。
- ・大規模地震などの自然災害に対する懸念や生産年齢人口の減少が予測されるなど、多くの課題を抱えており、名古屋大都市圏が世界に誇るものづくり産業においても、技術革新に伴う産業構造の急速な変化に対応し、持続的な成長をはかる必要がある。
- ・名古屋の強みを時代に対応したより強靱なものへと進化させるとともに、国際的な都市間競争に打ち勝ち、本市や名古屋大都市圏の成長、ひいては日本全体の成長につなげていく。

(イ) 基本目標

基本目標 1	国内外のヒト・モノ・カネ・情報が行き交う対流拠点都市の実現
基本目標 2	我が国の人流・物流を支える強くしなやかな都市の実現

(5) めざす都市像の実現に向けた施策・事業

(議案別冊：123～390ページ)

ア 施策・事業の全体像

令和元年度から令和5年度の5年間における「めざす都市像」の実現と市民サービスの推進に向けた取り組みを45の施策として体系化し、各施策を推進する上で重要な事業を掲載する。

(ア) 施策・事業数

めざす都市像等	施策数	事業数
人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち	10	92
安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち	5	92
人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち	7	96
快適な都市環境と自然が調和したまち	10	98
魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち	9	123
市民サービスの推進	4	29
合計	45	530

(イ) 計画事業費

本計画の掲載事業の実施に要する事業費は、5年間の計画期間を通して概算で、約2兆3,205億円を見込む。

(ウ) 計画の進行管理

- ・実施状況の把握として、毎年度、施策ごとの成果指標の状況や掲載事業の実施状況を把握し公表する。
- ・毎年度の予算編成において、本計画の重点戦略に基づき、実施状況を踏まえ予算の重点化をはかる。

(エ) 取り組む施策・事業

都市像 1 人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち	
施策 (10)	1 人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります
	2 男女平等参画を総合的に進めます
	3 生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
	4 適切な医療を受けられる体制を整えます
	5 高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援します
	6 高齢者が地域で安心して暮らせるよう支援します
	7 安心して介護を受けられるよう支援します
	8 障害者が自立して安心して暮らせるよう支援します
	9 誰もが意欲を持って働けるよう就労支援を進めます
	10 生涯にわたる学びやスポーツを通した生きがいづくりを支援します

都市像 2 安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち	
施策 (5)	11 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
	12 子どもが健やかに育つよう、子ども・家庭を支援します
	13 虐待やいじめ、不登校から子どもを救います
	14 子どもの個性を大切に、幅広い学力と豊かな心、健やかな体を育みます
	15 若い世代が学び育ち、活躍できるまちをつくります

都市像 3 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち	
施策 (7)	16 災害に強い都市基盤の整備を進めます
	17 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
	18 市民の命を守る消防体制の充実強化をはかります
	19 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます
	20 衛生的な環境を確保します
	21 安心・安全でおいしい水道水を安定供給します
	22 消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します

都市像 4 快適な都市環境と自然が調和したまち	
施策 (10)	23 大気や水質などが良好に保たれた快適な生活環境を確保します
	24 身近な自然や農にふれあう環境をつくります
	25 公共交通を中心とした楽しく快適なまちづくりを進めます
	26 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
	27 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します
	28 バリアフリーのまちづくりを進めます
	29 多様なニーズに対応した安心・ゆとりある住生活の実現・継承をはかります
	30 市民・事業者の環境に配慮した活動を促進します
	31 低炭素都市づくりを進めます
	32 3Rを通じた循環型都市づくりを進めます

都市像 5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち	
施策 (9)	33 世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
	34 国際的に開かれたまちづくりを進めます
	35 港・水辺の魅力向上をはかります
	36 魅力的な都市景観の形成を進めます
	37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
	38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します
	39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
	40 地域の産業を育成・支援します
	41 新たな価値を創造する産業を振興するとともに、産業交流を促進します

市民サービスの推進	
施策 (4)	42 市民サービスの向上を進めます
	43 市民への情報発信・情報公開と、個人情報保護を進めます
	44 地域主体のまちづくりを進めます
	45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます

